

2020年7月30日

各位

本社所在地 大阪市中央区十二軒町5-12
上場会社名 株式会社マングラム
代表者名 社長執行役員 西村元延
証券コード 4917 東証第1部
問い合わせ先 IR室長 川北英男
(TEL.06-6767-5020)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月8日に公表した「2020年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)の業績予想および配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想数値 (2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	33,000	400	750	450	10.03
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期(2020年3月期 第2四半期)実績	44,439	4,628	5,107	3,276	71.05

(2) 2021年3月期 通期 連結業績予想数値 (2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する通期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	65,000	1,500	1,950	1,200	26.75
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期(2020年3月期)実績	81,774	5,970	6,706	4,445	97.68

2. 個別業績予想について

(1) 2021年3月期 第2四半期（累計）個別業績予想数値（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想（A）	—	—	—	—
今回発表予想（B）	23,500	1,600	1,300	28.98
増減額（B－A）	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—
（ご参考） 前期（2020年3月期 第2四半期）実績	28,769	3,667	2,736	59.33

(2) 2021年3月期 通期 個別業績予想数値（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想（A）	—	—	—	—
今回発表予想（B）	44,500	2,150	1,600	35.66
増減額（B－A）	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—
（ご参考）前期（2020年3月期）実績	50,414	4,091	3,117	68.51

3. 配当予想について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	—	—
今回予想	—	16.00	—	16.00	32.00
前期（2020年3月期）実績	—	31.00	—	31.00	62.00

4. 業績予想及び配当予想の理由

2020年5月8日に公表した「2020年3月期決算短信」では、新型コロナウイルス感染症拡大による当社業績への影響を合理的に算定することが困難であったため、2021年3月期の業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、今般現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、業績予想及び配当予想を算定いたしましたので、公表いたします。

2021年3月期第1四半期は、世界各国で新型コロナウイルス感染症拡大の影響が発生し、なかでも中国や東アジア各国における影響が大きく、外出制限に伴う化粧品需要の落ち込みが見られ、売上高が前期比20.8%の減収となりました。新型コロナウイルス感染症の収束は現状でもいまだ見通せず、第2四半期以降は中国、東アジア各国は回復が期待されるものの、日本と東南アジアの各国における減収幅が大きくなると予想しております。このような状況を現時点で可能な範囲で織り込んだ結果、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前期実績に比べていずれも減少すると予想しております。

また、当社は株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、中長期的な事業拡大、新規事業開拓及び企業リスクのための内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元は継続して実施していく方針です。配当金に関する数値目標として、特別な要素を除いた連結ベースでの「配当性向40%以上」としております。当期配当予想につきましては、上記業績予想及び上記基本方針に基づき、業績見通しが前期比で大幅な減収減益となることに加え、いまだ今後の見通しも不透明なことから、年間配当金は前期実績から30円減少の1株当たり32円とさせていただきます。(予想配当性向119.6%)

なお、業績予想は、新型コロナウイルスの感染拡大・収束の状況や時期をはじめとする外的要因により予期せぬ変動が生じる可能性も否定できないため、大きな変動が見込まれる場合は、あらためて速やかに業績予想を修正いたします。

(注)上記の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

以上